

令和3年度北野高等学校 第3回学校運営協議会

日時 令和4年2月28日(月) 13:30~14:30

次第

- (1) 校長挨拶
- (2) 事務局より
 - ・校長より 今年度学校経営計画 と 次年度計画 について
 - ・進路部 進路部主任より 共通テスト結果と出願状況について
 - ・首席より 今年度学校教育自己診断 について
- (3) 意見交流 委員からのご意見

議事録

【1】事務局より

1. 校長より 次年度の学校経営計画

1) 高い学力の育成

校内の教員相互の授業見学を継続させる。教科の枠を超えて見学し、自分の授業を振り返ることができるようにする。上手い授業を見学すれば、見学者の授業は変わっていく。その機会づくりをしたい。

2) 豊かな人間性と心身のたくましさの育成

コロナの状況を注視したうえで、行事を含めた教育活動を継続し、豊かな人間性と心身のたくましさの育成を実現する。

3) 次代のグローバル・リーダーの育成

思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力を育てるため、本校は課題研究を重視している。資金的支援を受け、恵まれた環境にある。最終発表には大阪府のリーダーとして他校を招き、GLHSとしての役割を果たしたい。WWLは今年度で終わるため、次年度は事業の継承発展に取り組む。

4) 学習環境及び職場環境の充実

授業第一主義を整えるための予算を確保し、教職員間で気軽に話ができる風通しの良い職場をつくる。

2. 進路部主任より 共通テスト結果と出願状況について

1) 共通テスト結果 共通テストは数学や日本史を中心に全国的に難化したが、本校は健闘し、比較的得点できている。

2) 今年度出願状況 東大は去年と同数、京大は若干の減少、大阪は増加、神大・公立大は減少。昨年は問題が易しく、強気出願になっていたが、今年も弱気にはなっていない。当初の予定通り出願できた生徒が多かった。推薦入試についても例年並み、15名程度が出願した。134期生はコロナの影響を受けた学年だったが、例年通り受験に取り組むことが出来た。結果について冷静に報告に来ており、元気にできているという印象。真剣に進路について考え、第一志望を受験できた。

3. 首席より 今年度学校教育自己診断について

1) 高い学力の育成 生徒の授業に対する回答は9割以上が肯定的。

2) 豊かな人間性と心身のたくましさの育成

肯定的回答が多い。コロナの影響があったので、ボランティアへの参加は少ない。

3) 次代のグローバル・リーダーの育成

コロナの影響で留学はできなかったが、授業の中で、自分の考えをまとめる機会についての肯定的評価は多かった。

4) 校内課題の解決

- ・保護者や府民への情報提供が課題。他の項目に比べ、肯定的解答が7割程度とやや低く、改善の余地がある。ホームページの改善を検討している。学校情報をメールでも配信しており、緊急時にはライデンメールで連絡している。
- ・ICT機器の活用については、一人一台タブレットが配付されたが、活用の機会が少ないという声があった。どんどん進めていきたい。
- ・授業の理解度に対する不安が多かった。補習の希望や担当者間のわかりやすさの差についての不安がかなりの数あがっている。各担当が生徒の学習状況を見極め、補習等を実施しており、質問にも丁寧に対応している。担当者間の授業力の差については授業の相互見学の徹底によって解決したい。
- ・体育の授業についての意見も多い。体育の授業は個々の生徒の事情に応じて対応し、補習を行っている。
- ・感染対策については、換気の徹底や手指消毒・マスク着用の意識を高めるための声掛けを行っている。部活動もガイドラインに沿って行っている。
- ・施設・設備については、トイレの改修工事が完了、部室の建て替えを進めている。空調についても、換気をしながらであるため、エアコンの温度設定を高くしている。Wi-Fiはアクセスポイントが全教室に設置された。プールも全面改修したため、学習環境は良くなっている。
- ・教職員の回答から、教職員間の風通しが良くなっていると思われる。今の状態をいかに維持するかが求められる。

【2】協議・意見交流 ○委員 ●事務局

○進路部の話について伺いたい。共通テストの得点が今年は全国的に下がったが、北野で影響を受けなかったのはなぜなのか。今年の入試問題は思考力を問う問題が増えたのか、問題数が増えたのか。

●進路部主任 回答

問題傾向が大きく変わった。読解力、実生活と絡めた思考力を問う問題など、純粋な数学力以外の力を問う問題が多かった。日本史は史料読解が多く、世界史と比べ古典の読解が必要になるため難しかった。全国の高校生はかなり対処に苦慮したようだったが、本校生徒は高得点が取れている。

○入試問題の変化に対応できる授業ができているということか。

●校長 回答

知識技能のみを問う授業が少ない。思考力を問う授業の成果が出ているのではないか。

○先生が勉強に割くための時間をどの程度取れているか。生徒は先生がどれくらい勉強しているかに敏感である。どの程度そのような機会や時間があるのか。先生方の研究や、自身の勉強に割く十分な時間をとる為に、労働時間の管理をしっかりしてほしい。

○高い学力の育成に対して、95%の肯定的回答がある中、残りの5%へのアプローチにも注目したい。最も立場が弱い人がそこに表れている。そこを見る余力があるかどうか。そこへの教員の取り組みを情報として披露するとより良くなる。教員の時間にゆとりが生まれるような体制を作ってほしい。ICT機器を効果的に取り入れ、対面授業とオンライン授業のハイブリッドにするなど、具体的なアイデアを出していくとよい。自由な時間、遊びの時間を持った生活を教員にしてほしい。その成果が出れば良いモデルになる。北野にはそれをするポテンシャルがある。その点に、徐々にではなく思い切って挑戦してほしい。

●校長 回答

学校に来られない生徒や、学力に不安がある5%の生徒への対応には大きなエネルギーが必要である。学力が比較的高い生徒は主体的に伸びる。勉強に不安を感じている生徒や、心の病を抱えている生徒の支援はとても難しい。答えはないが、そうなる前にどうするのかを考えていきたい。

○部活動が活発で素晴らしい。激励金を出していると思う。修学奨学金に関しては進んでいない。コロナ禍での生活困窮度の判定が難しい。折角予算があるので、困っている生徒をできるだけ見つけていただき、奨学金を活用してほしい。

○教員の仕事を減らすことが大事だと考えている。昨年度より教員間の風通しが良くなった原因、理由は何か。

●教頭 回答

先生方は、日常的に授業について話している。そういった雰囲気は自然に学校全体に広がっている。

○時間が限られる仕事でないので、仕事内容はきりが無い。楽しくできているなら良い。時間を有効的に使うことも大切である。図書の貸し出しが増えた件について聞きたい。

●教頭 回答

生徒からボランティアを募り、図書館サポーターとして読書の普及活動を行っている。図書館の分掌の先生方が、上手に仕組み作りをして、図書館サポーターが本の帯を書き、図書館に導入する本の選定をして、生徒の読書を促進している。また、国語や英語の授業の冒頭に本を読む時間を取り入れるなど、本に馴染みを持つ取り組みをしている。

●進路部主任 回答

教員間の風通しを良くする取り組みについて。かつてはそれぞれの教科の先生が個々で職人芸のような授業をしていた。最近は若手の先生も増え、ベテランの先生と若手の先生が教え合える環境である。

○3年生が明日卒業する。心身だけでなく意識も大きく成長した。手を抜かずに頑張り抜く力や、授業を少しも無駄にしない意識が育った。受験で頑張る様子を通して3年間の成長を実感している。3年間ありがとうございました。

○委員を辞任するにあたって、最後の挨拶をさせてほしい。20年間委員を務めさせていただいたが、その間北野は右肩上がりに成長してきた。先生達は大変だったと思う。良い時期に委員をさせてもらえた。この学校が良い人を生まなければ将来がないという気持ちでこれからも頑張ってもらいたい。

【3】教員の教育活動に係る保護者からの意見の調査・審議 等 なし

【4】令和4年度学校経営計画について、委員全員からの承認が得られた。